

平成27年度 第1回遺跡見学会 平成27年6月6日(土)

たかぎ ひかわ

さいたま市  
西区高木

# 高木氷川遺跡 (第1次調査)

公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団では、大宮西部特定土地区画整理事業に先立ち、高木氷川遺跡の発掘調査を行っています。

高木氷川遺跡は今回が初めての調査となります。大宮台地上には高木氷川遺跡をはじめ、周辺にも数多くの遺跡があります。

調査の結果、縄文時代中期(約4,300年前)の<sup>たてあなじゅうきょあと</sup>竪穴住居跡が4軒と、<sup>どこう</sup>土壌が約40基見つかりました。竪穴住居跡からは縄文土器をはじめ、<sup>せきぞく いしざら すりいし</sup>石鏃や石皿、磨石の破片などが出土しています。

今回の調査によって、高木地域に住んだ縄文人のくらしの一端が分かってきました。



遺構を掘る前の様子  
(白線で囲んだ部分)



発掘作業の様子

発掘では、遺構を手掘りで丁寧に掘り下げ、写真を撮影したり、図面を作成して記録を残します。



主催：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団  
共催：埼玉県教育委員会



## 第1号住居跡

ふかばち ろ  
深鉢と炉が見つかる！



炉の脇から出土した  
ふかばち  
深鉢



炉跡



## 第3号住居跡

たくさんの土器片が出土！



## 第4号住居跡 変わった文様の土器が出土！

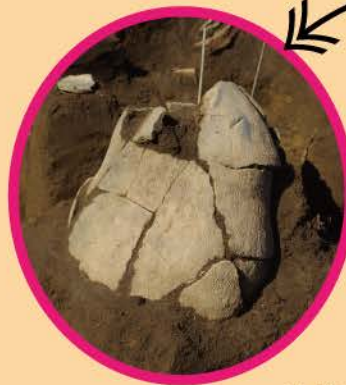
もんよう



掘る前の様子



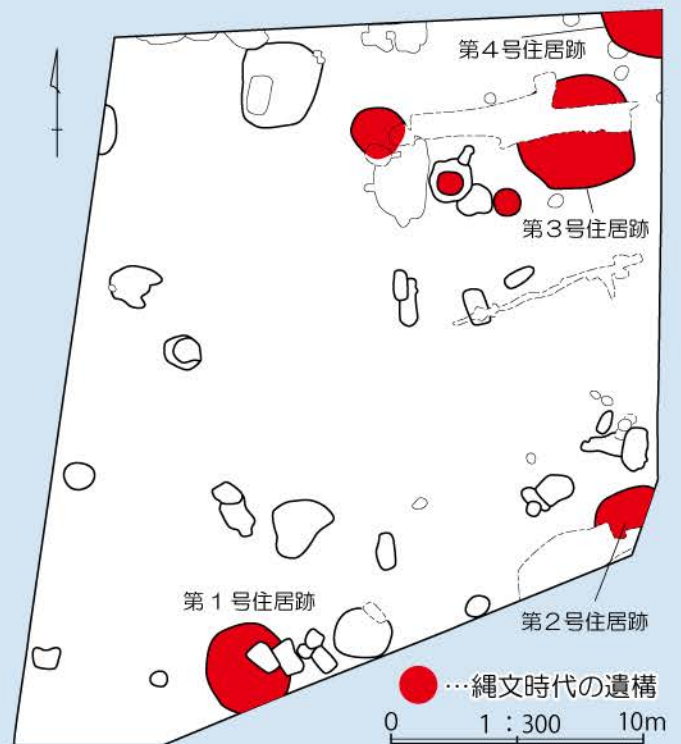
掘り下げた後の様子



ふかばち  
逆さまに出土した深鉢



## 高木氷川遺跡概略図



第1号住居跡の炉跡は、土器の破片で炉を組んでおり、「土器囲い炉」と呼ばれます。中は真っ赤に焼けており、よく使われていたことがわかります。

## ヒスイ製の磨製石斧

ませいせきふ



この磨製石斧は、かなり風化していますが、自然科学分析の結果、ヒスイの一種とわかりました。

どこから持ってきたのでしょうか？